



学校便り

だしる

自主・向学・協調・練磨

錦江町立田代中学校

令和6年10月25日発行

合い言葉やればできる

家庭におけるスマホ・タブレットの使い方

校長 土岐 邦寿

日常生活において必需品となっているスマートフォンや学校生活において頻繁に活用されているタブレットは現代社会において万能選手みたいな扱い方をされています。電話ができるだけでなく、テレビ代わり、図書館代わり、ゲームや音楽、買い物における支払いまでできてしまいます。定期券にもなるし、この頃の銀行は紙の通帳は廃止になって（どうしても紙の通帳が必要な方は500円出して作成）入出金はスマホで確認という状況まできています。最新型は人工知能（AI）まで搭載し、様々な問題を解決したり、助言したりすることもできるようになってきました。

さて、それを使っている人間の方はどうでしょう。スマホに振り回されていないでしょうか。便利な面だけでなく、闇の部分のあります。代表例は「闇バイト」。簡単にお小遣いが稼げますと誘い込んで、ボタンをポチッと押したら、スマホの中にある個人情報情報を奪われ、断れない（抜け出せない）状況まで追い込まれ、空き巣や殺人強盗をさせられる羽目になっています。低年齢化が心配されていましたが、ついに中学三年生が逮捕される事態になってしまいました。「そんなの都会での話でしょ」と思っている人がいるかもしれませんが、インターネットは世界中つながっています。明日は我が身となりかねません。保護者の方々、自分のお子さんのスマホ、確認したことがありますか？自由に使わせているのではないのでしょうか。「うちの子に限って」という言葉は通じません。本当に必要なのか再検討していただきたいと思います。必要であっても、未成年者の端末はフィルタリングを導入する必要があります。危ないSNS等をカットしてくれるフィルタリングはスマホの販売店で設定してもらえますので必ずやってもらってください。うちの端末は設定してあるかわからないという方も、お店で確認してもらえますので面倒腐らずやりましょう。

怖い話は続きます。スマホがいじめの道具になっているのをご存じでしょうか。昔は掲示板に悪口を書き込んでいましたが、すぐにばれるのでこの頃は手法を変えています。お子さんはLINEやInstagram、X、TikTok、Discord、Snapなどなどアプリを入れていないでしょうか。今や50種類以上のSNSがあります。今の子供たちはそこに書き込みをすると、履歴が残ることを知っているのです、表には書き込みません。大人（親）が見ないところに書き込みます。わかりやすい例だとLINE。LINEでやりとりするとき、丸いアイコン（顔など）があります。これを何回か押すとその人のプロフィール画面に行くかと思えます。○写真、名前（ニックネーム）の下に数行メッセージが書き込めるのです。そこに友達にしかわからない隠語で悪口を書き込みます。「例：イモうざ」「例：魔法少女草」「例：戦隊キモ」この悪口はまだわかりやすいですね。相手のあだ名や好んでいるキャラクターで代用します。すごいのは数行、詩が書いてあって先頭の文字を繋げると悪口になるなんてものもあります。これを数時間～数日で書き換えてしまうので大人に気付かれにくいし、ばれないのです。こんなメッセージは仲のいい友達に伝わればいいので、仲間が見たとわかった途端消してしまいます。こんなことに子供たちは使っています。大人としても対策を立てる時期にきていると思いますがいかがでしょうか。



季節外れの桜